



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 岡野 友宏  
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www10.showa-u.ac.jp/~denthp/index.html>

## 病院内での明るいあいさつを！

高齢者歯科科長 佐藤 裕二

私は明るい挨拶が好きです。学生には厳しく態度教育を行っているので、「フセイン」とか「極悪先生」とか呼ばれているようですが、院内で学生とすれ違った際には、必ずこちらから挨拶をするようにしています。初めはぎこちなかった学生も、明るい挨拶を返してくれるようになってきたと感じています。

「学生から挨拶するのが当然で、挨拶をしない学生は無視」という考えもあるでしょうが、私はそうは思いません。こちらから挨拶すれば、そのうち、返って来ます。ただ、最初は、ぎこちなくて、朝一番に会っても、「おつかれさま」といわれたりすると、「そんなに疲れた顔をしていた」のかと、心配になります。

学生には、「11時頃までに初めて会った際はお早うございます」と指導しています。2回目以降にもう一度合った際は、「こんにちは」でしょうか？夕方、明らかに帰り際と思える人と会ったら、「お疲れさま」と指導しています。それ以外は原則として「こんにちは！」だと思えます。

挨拶は、「敵意が無く味方である」ことを表すものです。笑顔で、目を見つめて、明るい声で行いたいものです。「通りすがりにお会いする患者さんとも明るい挨拶ができたらなあ」と思ってきました。そうすれば、病院は笑顔が溢れて、より明るくなり、節電にも貢献できるかも知れません(?)。

ただ、面識のない患者さんに挨拶するのは、ちょっとドキドキします。もちろん、患者さんから知らない先生やスタッフに、すれ違った際に挨拶することはもっと勇気がいると思います。

私は、これから、勇気を出して積極的に患者さんに挨拶をさせていただこうと思います。朝は「お早うございます」、昼は「こんにちは」、診療が終わられたように見える患者さんには「おつかれさま」

でいいでしょうか？ 診療が終わられたのかそうで無いかは、一見分かりません。階段やエレベーターで下りてこられる場合も、必ずしも診療が終わったとは限りません。もしかしたら、診療が終わられた患者さんにも「こんにちは」と言うかも知れませんが、お許してください。



「おはよう！」っていうと、  
「おはよう！」っていう。  
「こんにちは！」っていうと、  
「こんにちは！」っていう。  
無言で通り過ぎると、  
無言で通り過ぎる。  
そうして後で寂しくなって  
「お疲れさま」っていうと、  
「お疲れさま」っていう。  
こだまでしょうか。  
いえ誰でも。  
明るく挨拶すると、  
明るく答えてくれる。

より明るい歯科病院になればと願って、地道に挨拶をしますので、できれば、びっくりせずに、挨拶を返していただくと、とてもうれしいです。どうか、よろしく願いいたします。駄文を最後までお読み頂き、

「お疲れさまでした。ありがとうございます。」

## 高齢者歯科 紹介

私ども高齢者歯科では、70歳以上の方と65歳以上で基礎疾患があり、お体の状態を観察しながら治療を行わなければならない方や、医科の先生との連携が必要な方の診療を行っております。他の診療科と異なり、包括的な一般歯科診療を範疇といたしますが、認知症などのため精神鎮静法の併用が必要な場合や難症例と考えられる場合は、歯科麻酔科、口腔外科をはじめとする各専門診療科の側方支援をいただき治療を展開いたします。しかしながら、ご高齢な方々の歯科的問題点の多くは入れ歯やかぶせ物に起因するため、その分野(補綴治療といえます)に特に豊富なノウハウがあり、得意としております。

主任教授の佐藤裕二以下13名の医局員と8名の大学院生の総勢21名で外来診療にあたっておりますが、昭和大学口蓋裂診療班(SCPT)や顎変形症・口蓋裂のチームアプローチ(MFC)、障害者歯科における専門的補綴処置や、インプラント治療、施設への訪問診療なども担当しています。それゆえ、日本老年歯科医学会、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会の指導医・専門医を中心としたチーム診療体制を構築し、患者さんには充実した高度先進医療を、学生一臨床研修医一若手ドクターには一般診療から専門分野までのきめ細かな指導を提供できるよう努めております。

外来設備では、治療中の血圧や血中酸素濃度をリアルタイムに監視できる生体情報モニターや心が落ち着く笑気吸入鎮静器、訪問診療に対応できるポータブル歯科用ユニットなどを揃えています。また、脳梗塞や心筋梗塞発作の予防のために抗血液凝固薬(ワルファリンカリウム)を服用されている方には、抜歯などでの止血に問題がないか確認できる検査キットがございます。さらに、患者さんの治療に対するご理解を深めていただくために、豊富なサンプルやリーフレットに加え、説明用テレビモニター付きユニットも設置しております。

近年の長寿社会では、歯科の二大疾患である虫歯や歯周病に加え、お口の乾燥に起因する違和感・義歯の不調など、かつては稀であった症状

でお困りの方が増えております。これらは、食べる、話すといった生活の基本部分の質を大きく低下させますが、完治が困難なため「CURE(治療)よりもCARE(ケア)」するアプローチが重要です。そこで、お口の乾燥状態を検査する機器(図1)を導入し、必要あれば唾液の分泌を助けるマッサージ法のご指導や保湿ジェルなどもお勧めしております。また、お口の臭いや違和感の原因となるカンジダ菌の検査や、舌の清掃用具のご紹介、脳梗塞の後遺症などで手のご不自由な方に扱いやすいブラシの導入といったような、日常をより快適にするケアも行っております。

前例のない超高齢化が急速に進む日本において、健やかに日々をお過ごしいただけるよう微力ながらお手伝いをいたしたく、医局員一同日々診療に取り組んでおります。

(高齢者歯科 講師 下平 修)



図1 口腔水分計 ムーカス®



高齢者歯科医局員

歯内治療は、歯の根の治療を主に行います。感染した歯の神経(歯髄)を取り除き根の中の管(根管)を洗浄することによって根管内の細菌の数を減らし根の周りの組織を健康な状態に保つことを目的にしています。

歯の根の治療は歯肉の下で見えない管の治療のため様々な器具を用いて行います。複雑な構造をしている根やなかなか治りにくく原因がわからない場合はマイクロスコープ(手術用顕微鏡)を用いて診察を行っています。

現在昭和大学歯科病院歯内治療科では、3台のマイクロスコープを設置しています。



マイクロスコープの特徴は、3~20倍に拡大し細部を良く見えるようにします。さらに明るい照明で暗い深部が見えるようにします。そうした拡大され明るく見やすくなった根管内部の様子を録画して記録できます。

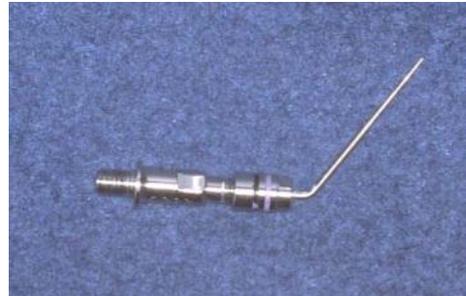


→ 根管の入り口

上顎の第一大臼歯は通常3つの根管があります。しかしかなりの割合で赤い矢印で示した4つ目の根管が存在します。この4つ目の根管を探す場合にはマイクロスコープが大変有効です。4つ目の根管を治療することによって痛みや違和感がなくなる場合が多くあります。

また、とても細い根管の治療を行っているとき器具が根管に残ってしまう場合があります。

このような場合はマイクロスコープと特殊な超音波器具を使い器具の破片を除去します。



特殊な超音波器具



根管に器具の破片が残っている。



除去後

根管が割れていた場合などは拡大された画像を録画しモニターで見ただくことも出来ます。

このように必要に応じてマイクロスコープを用い根管の治療を行うことによってより正確に患者様に安心を与えられることが出来るようになりました。



全ての治療では、用いておりませんがご不明な点は3階歯内治療科受付までお気軽にご質問ください

## 平成23年度の昭和大学歯科病院医療連携講演会が開催されました。

10月15日(土)に平成23年度昭和大学歯科病院医療連携講演会・懇親会が開催されました。

講演会は佐野晴男副病院長・地域歯科医療連携室長が司会進行役を務め、岡野友宏病院長の開会挨拶の後、高齢者歯科桑澤実希助教が「昭和大学医療救援活動報告」というタイトルで3月11日東日本大震災後に3月14日から岩手県山田町で行ったおよそ一か月に及ぶ昭和大学のもくろみによる医療救援を熱く報告されました。



口腔外科 新谷 悟 教授の講演



高齢者歯科 桑澤 実希 助教の講演

また続いて口腔外科新谷悟教授が「開業医からできる口腔がん早期発見・大学病院からできる低侵襲治療」というタイトルで口腔癌の早期発見、癌検診ならびに形態と機能をできるだけ温存する低侵襲治療の重要性について情熱的に講演されました。最後は井上美津子副病院長が閉会の挨拶を行い、懇親会へと移りました。

懇親会も佐野晴男副病院長・地域歯科医療連携室長が司会進行役を務め開会挨拶の後、岡野友宏病院長による乾杯の発声の後、和やかな雰囲気でご歓談が進み、ご出席された歯科医師会を代表して品川歯科医師会斎藤一人先生、大森歯科医師会岡本徹先生、川崎市歯科医師会遠藤慶一先生、荏原歯科医師会鈴木治仁先生、玉川歯科医師会田村千秋先生、蒲田歯科医師会佐藤知則先生、世田谷歯科医師会飯田泰一先生からご挨拶のお言葉を頂戴しました。懇親会には大森歯科医師会17名、玉川歯科医師会14名、世田谷歯科医師会8名、品川歯科医師会3名、荏原歯科医師会3名、川崎市歯科医師会3名、蒲田歯科医師会2名の50名の歯科医師の先生が参加されました。

歯科病院診療各科からの紹介の後、終始和やかな雰囲気でご歓談は進行し、最後は井上美津子副病院長の閉会の挨拶をもちまして懇親会は終了しました。

(地域歯科医療連携室副室長 高橋浩二)



## 編集後記

10月も下旬に入りましたが蒸し暑い日や曇天、雨が続きたりと爽やかな秋空が恋しい今日この頃です。しかし天候とは全く関係なく、わたしの食欲は増進しメタボにますます身を委ねています。。。

皆様、スポーツの秋です。ウォーキングなど身近な運動からはじめましょう。。。

わたしは大変意志は弱いのですが、少しはがんばりたいと思います。

(K.T)

